

「自然のふしぎ・ゆめ研究講座を体験して」

船引町立梶山小学校 四年 大河原 直美

私たちは今年、福島県農業試験場の方々にご指導いただいて、「自然のふしぎ・ゆめ研究講座」を体験しました。はじめは、この学習では何をやるんだろうと思っていましたが、農業試験場に行っておじさんたちの話を聞いてみたら、とても面白そうな研究だったので、やる気が出てきました。

まず、六月のはじめに農業試験場に行き、試験場内の見学をさせていただきました。広い場内では、野菜やお米などについていろいろな研究をしていました。稲の研究をしている水田では、たくさんの種類の米が作られていました。私はコシヒカリとササニシキというお米の名前しか知らなかったのですが、こんなにたくさんの種類のお米があったと知ってびっくりしました。ひりょうの量を変えたり、じょ草ざいの量を変えたりして一番稲がよく育つようにするにはどうすればいいかを調べているそうです。その他にも、イチゴの研究をするためのビニールハウスや、ばい菌やウイルスがつかないようにして研究する建物などがあり、すごい施設だなと感じました。

見学が終わると、建物の中に入ってこれからの研究の仕方について説明を受けました。私たちは、ペットボトルの空き容器を利用してミツバを水栽培する研究に取り組むことになりました。水で植物が育てられるのか心配でしたが、そういう方法もあると聞いてじっさいにやってみたくまりました。土が無いところで、自分で育てたミツバを食べることができたらうれしいだろうと、楽しみにしながら実験してみました。

すると、土が無くても養分の入った水をきちんと与えれば、ミツバは元気に育ってくれました。一学期の終わりごろには、大きな葉をつけて家族みんなで食べることができるほどに成長したのです。お店で売っているミツバや畑に植えてある三つ葉のように立派には育たないだろうと予想していたので、意外な結果でした。その他にも、アサガオを養分の入った水で育てる実験をしてみました。こちらは、うまく育ちませんでした。どんな植物でも水だけで育てられるわけではないこともわかりました。

この実験の様子は、みんなでまとめて、理科の自由研究展に出品しました。その結果、四年生全員が入選することができました。たくさん時間をかけて、苦労して仕上げた作品だったので、入選することができてとてもうれしかったです。たくさんの知らない世界に出会えたことと自由研究が入選したことで、とてもいい思い出ができた体験でした。